



広報 たはら

Tahara

田原市ホームページ <http://www.city.tahara.aichi.jp>

2015
平成27年

10.15

花言葉に
思いを添えて!

目次

「しみんの広場」

2

健康都市連合日本支部大会

ちびっこ議会

今月の花「レイコのコレイいね」

地域の話題

スクールリポート

学校生活の一コマを紹介

たはらしティニュース

連載コーナー

おしらせ

渥美郡三町の時代

6

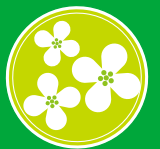
7

8

10

12





しみんの広場

CITIZEN'S PLAZA

もくじ

- 健康都市連合日本支部大会報告……………2ページ
- 子ども議会・今月の花……………3ページ
- 地域の話(高松校区)……………4ページ
- 市民活動を応援するページ……………5ページ

日本一野菜を食べるまちへ

健康都市連合日本支部大会

健康都市連合日本支部大会で、食生活改善推進員とベジエール渥美の皆さんが活動発表をしてみましたので、その様子をお伝えします。

第11回健康都市連合日本支部大会が愛媛県八幡浜市で、7月28日(火)・29日(水)に開催されました。

田原市は、食生活改善推進員とベジエール渥美の2つの市民団体の活動発表を行うために、参加しました。

本市は農業生産出荷額がトップクラスであり、野菜などの農産物が豊富な地域です。

しかし、都道府県別の野菜摂取量を見ると、愛知県は野菜摂取量が全国で最下位という結果になっています。

そこで、田原市が「日本一



●食生活改善推進員の発表



●ベジエール渥美の発表

野菜を知っているまち「日本一野菜を食べるまち」になるために活動している団体の「食」への取り組みについて、発表を行いました。この

発表をきっかけに、全国の皆さんに田原市の野菜について知ってもらう機会をこれからも増やしていきたいです。
また、市民の皆さんにも改めて田原市の野菜について知ってもらい、もっと食べてもらえるよう活動していきます。

身近にある新鮮な田原産の野菜をたくさん食べて、毎日元気に過ごしましょう。

●発表者の感想

市民の皆さんが元気で長生きできるよう、健康づくりの案内役として、ベジエール渥美さんなど他の団体の方と協力して活動していきたいです。



子どもの頃から野菜を好きになれるよう、保育園や幼稚園、小学校などでの食育講座を通じて、野菜・果物の魅力を伝えていきたいです。



▼健康課 ☎23局3515

広報サポーターカメラレポート

ソーラー・ウインド発電所



●三井化学様のソーラーパネル



広報サポーター 大久保ゆり

緑が浜に、たはらソーラー・ウインド発電所があります。見学デッキに立つと、魚の

うろこのように規則正しく設置されたソーラーパネルが目に見え込んできます。その数なんと21万枚！

海辺には3基の風車が建っており、日照時間が長く強い風が吹く田原ならではの景色です。

個人の見学はできませんが、団体での見学が可能です。環境学習などに活用ください。

詳しくは、環境政策課(☎23局3541)までお問合せください。



第32回ちびっこ道場 あいちまるごとウォッチッチ

もんげえ社会見学ずらあ〜

投稿 一般社団法人田原青年会議所

ちびっこ議会と題して市内の小学生による模擬議会を開催しました。これは、次代を担う子どもたちに挑戦することを学んで欲しいと願い、実施したものです。

1日目は、県内9都市10カ所の名所や施設を10チームに分かれ視察しました。田原市と同じところ、違うところ、まねするところなどを感じてきました。

2日目は、視察で感じたことや思ったことをまとめ、探検レポートを作成しました。はじめは誰かが書いてくれるからいいやと人任せだった子どもたちも徐々に自分の意見を言うようになり、積極的に話し合いができました。

そして、自分たちの考えを本物の議場で「ちびっこ議会」という形で発表



●みんなでレポート作成



●ちびっこ議会で発表

しました。堂々と発表する子どもたちの姿に、保護者や関係者は大きな拍手送っていました。

●将来の田原にあるといいと思ったこと

●新幹線を走らせたい

●高速道路が欲しい

●名物(料理、建物、オブジェ)をつくりたい

●大きな遊具のある公園が欲しい

●城下町をつくりたい

●空港が欲しい

この2日間

で、普段は大人任せでやらないうちも、自分たちで考え行動し、それを成し遂げる感動を味わった子どもたち。これからも、その達成感を忘れず、何事にも挑戦していつかはいいと思います。

▼一般社団法人田原青年会議所
23局2740



●集合写真

今月の花

レイコの花いいね 16

▶農政課 ☎23局3517

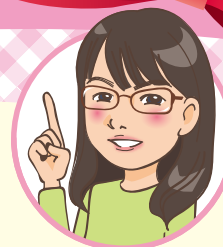
●勝利を飾る花



この夏、さまざまな場面で渥美半島の花を使ったビクトリーブーケが手渡されました。

ジャパンプロサーフィンツアー2015やAPBウィメンズ・ワールドツアーTAHARA・PROなどで、渥美半島のママやアジサイなどを使ったビクトリーブーケで勝者をお祝いしました。

また、2020年開催の東京オリンピック・パラリンピックのビクトリーブーケをデザインするフラワーデザインコンテストが東京で行われ、市内花屋の方が入賞し、渥美半島のママなどをPRするよい機会となりました。



10月の 渥美半島の花と鉢花



バラ

(花／出荷時期:通年)

花ことば

熱烈な愛、情熱

イギリス国花・紋章として有名で、県内2位の生産量、約1,300万本出荷されています。



ウィルマ

(鉢花／出荷時期:10月～12月)

花ことば

いつまでも変わらぬ思い

クリスマスツリーにも使われる鉢物で、約19万鉢出荷されています。



▲新調したやぐらを囲み、大いに盛り上がった盆踊り



▲盆踊りの練習。振り付けも自分たちで考えました

地域の話題

高松校区

地域一丸となつて盆踊りを復活！

『人と人 人と自然 絆を育むまちづくり』事業の

ひとつとして、盆踊りを復活させた

高松コミュニティ協議会からお便りが届きました。



夏の風物詩、盆踊りをもう一度

青年団の解散に伴い、数十年開催していなかった高松校区の盆踊り。一昨年ごろから「ぜひ、盆踊りを復活させたい」という声がささやかれ始めました。

今年の1月に過去5年の高松小PTA会長などが実行委員となり、若者の有志もそれに参加する形で動き始めました。そして、実行委員が精力的に打ち合わせを重ね、復活に向けて準備を進めていきました。一番の懸念材料だったやぐらも市からの補助を受け新調し、祭りが現実味を帯びてきました。

踊りの練習にもみんなで参加

練習は6月中旬から始め、約15日



間行いました。最初は慣れない曲や踊りに戸惑いました。昔の曲だけでなく新しい曲も取り入れようと話し合い、振り付けも自分たちで考え、子どもたちと一緒に練習しました。

そのおかげで次第に上達し、毎夜の練習には世代を超えて参加し、成功の予感がしてきました。

イベント複合開催で大盛況

当日は市民館まつり、フレンドシップデイも同時開催し、相乗効果を図りました。

市民館まつりは芸能発表に始まり、また盆踊りの隣では、とうもろこしやだんご、焼き鳥などの屋台を開きました。暑い中、行列ができ、子どもからお年寄りまでたくさん



人たちでにぎわいました。

市民館のグラウンド中央に立派なやぐらを建て、その周りには人の輪ができました。浴衣姿での参加者も多く、みんな楽しそうに踊って、大いに盛り上がりました。

大成功を収めた盆踊り。これは地域が一丸となつて一つの目標に向かった成果です。これからは高松校区のスローガンでもある「人と人と自然 絆を育むまちづくり」を実践し、地域を盛り上げていきたいと思っています。



▲大人気だった食べ物の屋台



市民活動を応援するページ



市民活動紹介

環境ボランティアサークル 亀の子隊

～東北震災支援 第9弾活動報告～

西の浜 海岸をきれいにする毎月1回の活動に加え、東北大震災が起こった平成23年の夏から「支援に行こう、東北へ」と題し、現地でのボランティア活動も行うようになりました。

第9回目となる今回の活動は、8月21日から23日に行いました。13時間かけて宮城県南三陸町に到着。田原市内の農家さんから提供していただいた野菜などを仮設住宅に届けました。

翌日、津波を被った土壌を整備する作業を全員で行い、夕方には、震災時の写真の前で被災者でもあるポータルセンターのセンター長のお話を聞きました。「昔からの言い伝えなどを意識していれば犠牲者は出なかったかもしれない」「毎月11日には行方不明者の捜索活動を行っている」「いまだに多くの人が仮設住宅で暮らしている」ことなどを聞きました。

最終日、街の様子を見に行きました。魚市場を建設中の港、志津川中学校、そして2031年まで保存が決まった防災庁舎。復興の兆しの中に、そのつめ跡はくっきりと残っています。

第10弾を今年の12月に計画しています。皆さんも一緒に東北地方へ支援に行きませんか。



▲活動の様子

お問い合わせ

環境ボランティアサークル 亀の子隊 (代表: 鈴木吉春)

☎ 090-9123-7983 ✉ yoshiharu@kamenoko.org 🌐 <http://www.kamenoko.org>

イベント紹介

NPO法人たはら国際交流協会

～第8回国際理解講座～

たはら 国際交流協会の活動のひとつに、田原市の姉妹都市・友好都市との交流があります。今年は姉妹都市の一つ、アメリカ、ケンタッキー州ジョージタウン市との姉妹都市提携25周年に合わせ、第24回市民海外派遣団の市民25名で訪問しました。今回、国際理解講座の第2部として、ジョージタウン市での交流の様子などを市民の皆さんへ報告します。

また、同じ講座の第1部では、「外国人の日本語スピーチコンテスト」を行います。田原市で生活している外国人が日本で暮らして思うことを一生懸命に語ります。ぜひ、聴きにきてください。



▲昨年の日本語スピーチコンテストの様子

第8回国際理解講座

日時: 11 / 15 日 9:30 ~ 12:00

会場: 田原文化会館 多目的ホール

内容: 第1部「外国人の日本語スピーチコンテスト」

第2部「第24回市民海外派遣 in America」帰国報告会

参加料: 無料

定員: 200名 (申し込み不要 / 当日、受付にて)

▶ 特定非営利活動法人たはら国際交流協会 (田原文化会館1階)

☎ 22局 2622 ✉ info@tahara-tia.jp

田原市民活動支援センター

🌐 <http://www.city.tahara.aichi.jp/kyoudou/>

☎ 22局 1111 (内線812) ※開設時間のみ

📠 23局 0180 ✉ shiminkatsudo@city.tahara.aichi.jp

メールマガジン配信中です!

センターから市民活動に関する新鮮な情報を随時、お届けします。配信ご希望の方は、メール本文に「メール配信希望」とご記入の上、左記センターアドレスへメール送信ください。





スクールレポート

SCHOOL REPORT 85

学校生活の
一コマを紹介

今回は、「小学校水泳大会」と「中学校総合体育大会」の様子をご紹介します。

●学校教育課 ☎ 23局 3679

小学校水泳大会

声援に押され、全力で泳ぐ選手たち

7月18日(土)、田原中部小学校と衣笠小学校の2会場で、「田原市小学校水泳大会」が開催されました。各学校の選手が、学年別に自由形、背泳ぎ、平泳ぎ、リレーの種目で競技を行いました。

会場では、レースの前に選手の名前と学校名が放送されるたびに、応援席から拍手と歓声が起きました。レースが始まると、応援の児童や観客から大きな声援が送られ、選手たちはそれに後押しされるように、全力で泳いでいました。多くの選手が自己記録を更新し、大会を通して、すばらしい成長ができたようです。

●力泳する背泳ぎの選手たち



●全力でプレーする選手たち



中学校総合体育大会

生徒たちの熱い思い そして 迫力

7月4日(土)、5日(日)、11日(土)、12日(日)の4日間、「田原市中学校総合体育大会」が開催され、7種目の競技で熱戦が繰り上げられました。また、8月2日(日)には、白谷海浜公園陸上競技場で、陸上競技の部が行われました。

田原市総合体育館では、男女のバスケットボール競技が行われました。コート内を走る選手は、躍動感にあふれていました。全力でボールを追いかけたり、リバウンドボールを取ろうと必死で跳びついたりする姿から、この大会にかける熱い思いが伝わってきました。

剣道競技が行われた東部中学校柔剣道場は、張りつめた空気が漂っていました。一瞬のすきも逃さまいと対峙する若き剣士の姿を、周りの生徒や観客はかたずをのんで見守っていました。そして、掛け声とともに一本が決まると、周りから歓声と拍手が沸き起こっていました。



ソフトボール競技は、赤羽根中学校のグラウンドで行われました。力を込めて投げるピッチャー、負けじと力強くスイングするバッター。中学生の試合とは思えぬ迫力でした。また、ピンチを迎えると、選手がピッチャーの所に集まり、笑顔で声を掛け合っていました。日ごろの練習で培われたチームの絆を感じさせる光景でした。

各種目の優勝校(団体の部)

- 【軟式野球】田原中
- 【バレーボール】男子:田原中、女子:泉中
- 【剣道】男子:田原中、女子:田原中
- 【バスケットボール】男子:東部中、女子:東部中
- 【卓球】男子:田原中、女子:福江中
- 【ソフトテニス】男子:田原中、女子:田原中
- 【ソフトボール】福江中
- 【陸上競技】男子:東部中、女子:田原中

9月20日(日)

吹き上がる火の粉
夜空を焦がす

田原祭りが9月19日(土)・20日(日)に開催され、新町・本町・萱町の3台のからくり山車^{だし}が街を練り歩きました。

20日(日)には、はなのき広場で手筒・大筒花火が披露され、火の粉の中に浮かび上がる勇ましい姿に、見物客から歓声があがりました。その後、田原文化会館周辺で行われた打ち上げ花火は、夜空をきれいに彩り、祭りのフィナーレを飾りました。



▲轟音をあげながら火柱が上がる手筒花火。緊張感が伝わってきます

9月18日(金)

全国の舞台で
輝け！たはらっこ

国民体育大会 弓道競技 少年男子の部
(和歌山県田辺市「9/27～29」)に出場を決めた柴田宏祥さん(成章高校3年)が市長を表敬訪問しました。柴田さんは、「3年間培ってきた力を出しきって、優勝を目指してがんばりたい」と意気込みを語りました。



▲市長から「田原市の名前をとどろかせてきて」と激励された柴田さん(写真中央)

ベジエール渥美の

野菜 de しあわせ ③



今が旬のサツマイモ。今回紹介するのはサツマイモと秋の果物をたっぷり使ったサラダです。サツマイモと果物は相性がよく、デザート感覚で楽しめます。

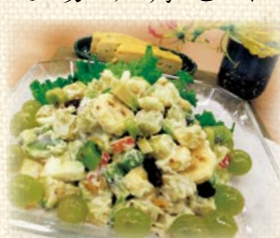
サツマイモは採れたてよりも余分な水分を逃がしてからの方が甘味が増し、ホクホクと美味しくなります。サツマイモは高カリウムと思われるですが、ビタミン・ミネラル・食物繊維など、さまざまな栄養素を含んでいます。

【つくり方】

サツマイモと秋のフルーツ サラダ【材料4人分】

- サツマイモ中1本 (300g)
 - 塩小さじ1/2
 - こしょう少々
 - バナナ小1本
 - レモン汁小さじ1
 - キウイフルーツ1個
 - りんご1/2個
 - アボカド1個
 - キュウリ1/2本
 - レーズン大さじ1
 - くるみ大さじ1
 - 【A】 ● プレーンヨーグルト大さじ3
 - マヨネーズ大さじ2
 - さとう小さじ1
- 【レシピ作成 河合かず子・河合保世】

① サツマイモは皮をむき、1cm角くらいのサイコロに切り、熱湯で



軟らかくゆでる。水気をしっかりと切り、塩、こしょうをして冷ましておく。

② バナナは皮をむき、輪切りにしてレモン汁をふっておく。

③ キウイフルーツ、アボカドは皮をむき、アボカドは種を取り、りんごは皮を残して、いちごは皮を剥いておく。

④ キュウリは小口切りにする。

⑤ レーズンは湯にひたして、やわらかくする。

⑥ くるみは荒みじんにして、Aと合わせサツマイモと混ぜる。

⑦ ⑥に他の材料を入れ、くずれないように軽く混ぜる。

▼ 農政課

☎ 23局 3517 FAX 22局 3817

キャベツ・からいんの 渥美半島きらり☆ゆるさんぽ 8



渥美半島☆観光大使のキャベツウとかいくんが、きらりっ！と光る田原市の観光資源をご紹介します。

★ レンタサイクル

今回は、運動しやすい季節になってきたので、夏に伊良湖に導入したレンタサイクルを紹介するカイ☆



伊良湖は、急な坂が多く、移動距離も長いため、従来型の自転車は観光をするには、使いづらいとの意見が利用者から多く寄せられていました。

そこで、より快適に観光地を巡ってもらうため、レンタサイクルに電動アシスト付き

自転車30台（伊良湖地区26台、あかばねロコステーション4台）

を導入しました。電動アシストによってペ



ダルを漕ぐ力が軽くなり、少ない力で伊良湖の坂道を楽々登ることが出来ます。

自転車の導入を記念して行われたイベントでは、自転車を利用した方から「観光スポットを効率的に疲れずに回ることができた」と好評でした。

また、伊良湖地区や赤羽根地区はサイクリングロードが整備されており、自転車で景色を楽しむには最適です。

電動アシスト付き自転車をぜひ利用して、涼しい秋風の中、伊良湖と赤羽根を観光してみたいかがでしうか。

● 電動アシスト付き自転車貸出場所

休暇村伊良湖、道の駅伊良湖クリスタルポルト、伊良湖シーパーク&スパ、伊良湖ビューホテル、道の駅赤羽根ロコステーション

● 貸出料金 500円/時

☎ <http://www.city.tahara.aichi.jp/kankotaihi/>

▼ 商工観光課

☎ 23局 3522 FAX 22局 3817

景観ってなあに？

vol.8

▶街づくり推進課 ☎23局3535

◎渥美半島には魅力的な景観がいっぱい！

6月15日号の広報やホームページなどで「渥美半島の美しい風景を発信し隊」の募集を行い、現在では約60名の方々に渥美半島の魅力を全国に発信していただいています。今回は、発信し隊の皆さんが投稿された

美しい渥美半島の風景の一部をご紹介します。

さまざまな顔を見せ、私たちが魅了してくれる渥美半島。ご紹介した風景のほかにも、渥美半島にはまだまだ美しい景観がたくさんあります。このような美しい景観を将来に引き継いでいくためにも、もう一度景観について考えてみてはいかがでしょうか。

渥美半島菜の花浪漫街道ブログでは、美しい風景やイベントなどの情報が盛りたくさんですので、ぜひご覧ください。

◆渥美半島菜の花浪漫街道ブログ♪

http://nanohanaromankaido.dosugoi.net/

皆さんも発信し隊の一員として、渥美半島の美しい風景を全国に発信してみませんか。



●海鳴り小僧さん
「谷ノ口海岸」



●亀の子隊さん「西ノ浜海岸」



●tamoさん「ハマボウと蔵王山」



●キャベソウくん
「街なかのお花畑」



●海王丸さん「神戸のヒマワリ畑」



●ZA03さん「蔵王山からの眺め」



11月8日(日)、各地区の自主防災会が主催する防災訓練が、市内の各集会所などで一斉に実施されます(一部地区は別日に実施します)。この訓練は、地域の実情に合わせて、地域ぐるみで行われるものです。

◆自主防災会とは？

近所・地域の人が協力し合い、「みんなの地域はみんなで守る」という地域の防災活動を効果的に行うための自主的な防災組織です。今回の訓練も、災害に強い地域づくりを目的に毎年実施されています。

◆協力し合って被害を最小限に

個人や家族で、いざというときへの備えをしておくことは重要ですが、それだけでは限界があります。自主防災会や地区・校区の皆さんが協力して行動することで、すぐに安否確認・避難誘導・救出活動を行えるなど、被害を最小限にとどめることができます。皆さんも

みんなできり組む防災・減災

しろちゃん

防災知恵袋 19

自主防災会の一斉防災訓練に参加しよう

訓練に参加して、自分の役割や自分のとるべき行動などを確認しましょう。



▼防災対策課 ☎23局3548
http://www.city.tahara.aichi.jp/

田原市自主防災会一斉防災訓練

▼日時 11月8日(日) 午前7時～9時ごろ

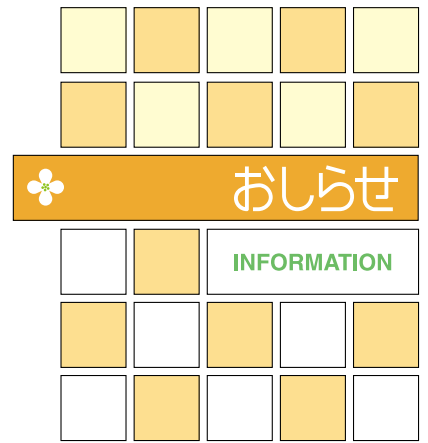
※地区によって終了時間が異なります。

▼訓練開始 当日の午前7時、市内放送用スピーカーから、訓練開始の放送が流れます。

▼避難方法 放送が流れたら、非常持出袋を持って各地区の集合場所に徒歩で避難しましょう。安否確認後は、各地区それぞれの訓練に参加しましょう。

※今年度から、日曜日の開催になりました。





募集

田原市立小・中学校 常勤・非常勤講師

- ▼応募資格＝次の要件をいずれも満たす方①子どもが好きで学校教育に熱心に取り組める方②教員免許所持者（採用時に取得見込みの方も可）
- ▼受付期間＝随時（市役所執務時間中）
- ▼申し込み＝市販の履歴書に顔写真を張り、必要事項を記入し、教員免許を所持している方はコピーを添えて、直接または郵送にて
- ▼学校教育課

〒441-3492 住所不要
☎23局3679 FAX22局3811

ディスクドン大会 参加者

- ▼対象＝【ジュニアの部（小学生）】1チーム12名【一般の部（中学生以上）】1チーム9名 ▼日時＝11月29日（日）午後1時～（参加チーム数により時間変更あり） ▼場所＝渥美運動公園屋内競技場 ▼申し込み＝11月6日（金）までに、スポーツ課、田原文化会館、赤羽根文化会館、渥美運動公園、各市民館にある申込用紙に必要事項を記入のうえ申込用紙設置施設に直接提出
- ※詳しくはお問い合わせください。

▼スポーツ課

☎23局3531 FAX22局3811

エコエネルギーツアー2015 参加者

- 市内のエコエネルギー施設を見学し、田原市の魅力を再発見してもらうバスツアーです。
- ▼対象＝市内在住・在勤・在学の方（小学生未満は保護者同伴） ▼日時＝11月14日（土）午前10時～正午 ▼集合場所＝田原市役所 ▼内容＝たはらエコ・ガーデンシティ構想の紹介、蔵王山展望台および緑が浜エコパークの見学、エコグッズくじ引き抽選会

- ▼定員＝20名（定員を超えた場合は抽選） ▼申し込み＝11月4日（水）までに電話またはFAX・Eメールにて（FAX・Eメールの場合は住所、氏名、年齢、電話番号を明記）

▼環境政策課

☎23局7401 FAX23局0180

✉kankyo@city.tahara.aichi.jp

野菜収穫＆スイーツ教室 参加者

- 野菜の収穫と、収穫した野菜を使ったスイーツ作りに、お子さんと一緒に参加してみませんか。

- ▼対象＝市内在住の小学生以下と保護者 ▼日時＝11月29日（日）午後1時～4時（受付は午後0時30分～）

- ▼場所＝サンテパルクたはら体験工房

- ▼内容＝収穫体験（じゃがいも、にんじん、キャベツなど※生育の状態によつて変更あり）、野菜のスイーツ作り

- ▼定員＝12組（先着順） ▼受講料＝1000円（体験料・材料費） ▼申し込み＝11月9日（月）までに電話またはFAX・Eメールにて（FAX・Eメールの場合は、住所・氏名・学年・電話番号を明記）

- ▼農政課

☎23局3517 FAX22局3817

✉nosei@city.tahara.aichi.jp

田原市博物館講座 「田原の歴史探訪」受講者

- 田原の歴史を再発見してみませんか。博物館の学芸員や特別顧問がさまざまなテーマでお話しします。

- ▼日時・内容＝表のとおり ▼場所＝田原市博物館研修室 ▼定員＝30名（原則3回の講座に出席できる方を優先） ▼申し込み＝11月13日（金）までに、電話、FAXまたはEメールにて（FAX・Eメールの場合は住所・氏名・年齢・電話番号を明記）

日時	内容／講師
11月23日 月祝 13:30～15:00	『新版「郷土の偉人」考－太田洋愛と山本雄二郎』／嶋津隆文（博物館特別顧問）
12月12日 土 13:30～15:00	『華椿系の花鳥画』／鈴木利昌（副館長）
平成28年 1月16日 土 13:30～15:00	『藤村「椰子の実」誕生の立役者 挿絵画家宮川春汀』／天野敏規（学芸員）

※内容は変更する場合があります。

▼田原市博物館

☎22局1720 FAX22局2028

✉museum@city.tahara.aichi.jp

平成27年度採用 陸上自衛隊 高等工科学校 生徒

▼応募資格 15歳以上17歳未満の男子で中学校卒業(卒業見込を含む)
▼試験会場 陸上自衛隊豊川駐屯地
▼試験日 平成28年1月23日(土)
▼申込期限 11月1日(日) 平成28年1月8日(金)

学校制度説明会

▼日時 11月7日(土) 午前10時～正午(受付は午前9時50分) ▼場所 田原文化会館202会議室 ▼申し込み 11月6日(金) 午後6時までに電話またはEメールにて
※詳しくはお問い合わせください。

自衛隊豊橋地域事務所

☎(0532) 33局2693
✉aichi.pco.toyohashi@rct.gsf.mod.go.jp

里親になりませんか

親の病気や離婚、虐待などさまざまな事情により家庭で生活できなくなった子どもたちを、温かい愛情と家庭



的な雰囲気の中で養育していただく養育里親を募集しています。

ほかに、子どもと養子縁組を希望する方も募集しています。里親制度について興味のある方は、お問い合わせください。

▼東三河児童・障害者相談センター
☎(0532) 54局6465

生活

11月は子ども・若者育成支援 県民運動強調月間です

育てよう自分に勝てる子負けない子

不登校や

ひきこもり、ニートなど社会生活を送ることが困難な子ども・若者の



問題を解決するには、関係機関や人々がネットワークを形成して支援を行っていくことが必要です。このため愛知県では、11月を「子ども・若者育成支援県民運動強調月間」と定め、子ども・若者育成支援に対する理解を深めるため、さまざまな事

業を実施します。

※詳しくはホームページをご覧ください。

文化生涯学習課

☎23局3635 FAX 22局3811

☎http://www.city.tahara.aichi.jp/

自転車の駐車マナーを守りましょう

11月は放置自転車クリーンキャンペーン月間です

通勤や通学などの足として欠かさない「自転車」。他の交通機関への乗り換え時には所定の駐輪場をご利用いただくとともに、駐車したまま長期間放置することのないようお願い

まちなかイルミネーション点灯式

まちなかの冬を華やかに彩るイルミネーションの点灯式とキャンドルナイトを開催します。

▶日時=11月7日

午後4時30分～6時

30分【点灯カウント

ダウン】午後5時30分

【キャンドルナイト】午

後5時～9時

▶場所=【イルミネーション点灯式】セントファーレ東側中央広場※雨天時はセントファーレセンターコート【キャンドルナイト】駅前広場、はなとき通りから駅前までの一帯の歩道

▶内容=ライブ演奏や、園児のぬり絵を使った灯籠が沿道を照らすキャンドルナイトとイルミネーションの点灯式を開催

※イルミネーションは、平成28年1月5日まで、午後5時から10時まで点灯

▶主催=まちなか賑わいづくり実行委員会

▶(株)あつまるタウン田原☎24局2345

☎http://www.tahara-tmo.com/

▶街づくり推進課☎23局3535

※市委託事業



寄付

DONATION

ふるさと寄附金

▼9月8日、浅倉康仁様(千葉県)から教育振興のため金2万円。

いします。キャンペーン期間中、駅周辺などの放置自転車の整理を実施します。放置自転車減少に、ご理解とご協力をお願いします。

市民協働課

☎23局3504 FAX 23局0180



渥美郡三町の時代



郷土史編さん室 ☎36局6503

田原臨海工業の曙 東三河工業整備特別地域に

平成17年の工業統計によると、田原市の製造品出荷額は2兆円に達し、全国で第17位、県内では豊田市、名古屋市に次いで第3位となりました。昭和30年（21億円）、昭和40年（61億円）のころに比べると驚異的な伸びといえます。これは田原北部の埋立地に進出したトヨタ自動車をはじめとする工場の集積によるものです。

ノリの養殖場が一面に広がった、田原湾ののどかな風景が工業



●田原臨海工業用地(国土地理院・空中写真 1978年撮影)

企業進出・トヨタ田原工場操業

昭和44年11月契約の三菱セメント

地域に一変したきっかけは、昭和38年7月に東三河が「工業整備特別地域」に指定（閣議決定）されたことにあります。これは、工業の発展を促進し、国土の均衡ある発展を目的としたものです。

さらに、翌39年4月には三河港（昭和37年に田原港・豊橋港・蒲郡港・西浦港が統合）が国の「重要港湾」に指定されました。これらを受けて、昭和42年から大規模な臨海工業用地の造成が進められたのです。

を皮切りに、埋立造成地への企業進出が始まりました。昭和45年に東京チーアンカーが、昭和46年に北炭カーボン、日本レダリーが進出を決定しました。

昭和54年1月には、トヨタ自動車の10番目の工場として、田原工場の操業が始まりました。用地の決定（昭和49年6月）にあたっては、年産300万台体制に対応できる工場用地を求めて東海三県を中心に広域的な調査を行った結果、田原町に決まったようです。

370万㎡の広大な土地に加え、



●昭和54年1月 田原工場第1号車ラインオフ(トヨタ自動車株式会社提供)

「臨海部に専用ふ頭をもった工場を建設すれば、大幅な流通コスト削減となることや新工場建設を機に生産の自動化も推進でき、人件費削減など、増え続ける輸出の円高対策として決定打となることが期待された」（東日新聞）ことによるものです。

これに合わせ関連企業などの進出が進み、平成27年9月現在、田原臨海工業用地に71社が立地し、うち64社が操業しています。

田原町（平成15年8月から田原市）の変ぼうぶりから見れば、トヨタ自動車の進出は田原市にとって画期的な出来事だったといえるでしょう。

（執筆委員・大和貞雄）

今月の「表紙」

▼花の一大生産地である田原市。「今月の渥美半島の花と鉢花」と称して、ひと月ごとに花と鉢花をPRしています。また、市民の皆さんが花に触れる機会をつくるうち、市内の花農家さんなどが立ち上がり、来月2月、「渥美半島花の超祭典」が開催されます。花の魅力いっぱいイベントになりそう、とても楽しみです。（M）

【表紙の写真】10月の渥美半島の花・バラ（西山町）